

謹んで新年の お慶びを申し上げます

年頭のいあいさつ

町民の皆様、新年あけまして
おめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平成二
十三年の初春を、ご家族お揃い
で健やかにお迎えのことと、心
からお慶び申し上げます。

昨年、私は町民皆様の温かい
ご支援のもと、無投票当選とい
う身に余る特段のご支持を賜
り、悠久の歴史と伝統に輝く上
ノ国町の町長として、引き続き
町政を担わせていただくことにな
りました。

私は、平成十四年に町長就任
以来今日まで、私の町政執行の
基本姿勢である「わたしたち町
民一人ひとりが現状を自覚し、
そして一人ひとりがこの町を変

えるという意思を表してくれ
る」ということを確信し、行財
政の見直しと改革に議会、町民
の皆様と手を携えて渾身の努力
をして参りました。

この間、皆様からいただきま
した深いご理解と、絶大なるご
協力に対しまして心から感謝申
し上げます。

さて、過ぎし平成二十二年度を
振り返りますと、世界景気は穏
やかな回復軌道にあります。日本
経済は国内需要の弱さやデ
フレ、産業の空洞化といった根
本問題が横たわり、本格回復の
兆しは見えない状況にあります。
国においては、昨年に引き
続き二度の補正予算を編成し景
気回復に取り組んでおります
が、エコカーやエコポイントと

いった政策効果による短期的な
押し上げに反動し、来年後半は
景気のさらなる悪化も懸念され
るような状況にあります。早急
な対策が望まれるところであり
ます。

記憶に残る出来事といたしま
しては、尖閣諸島中国漁船衝突
事件やチリ鉱山落盤事故では、
事故から六十九日後に全員救出
されました。また局地的集中豪
雨が各地で発生し、十月には奄
美大島で四十八時間で八百ミリ
を超える豪雨となり三名の方が
犠牲となりました。道内では八
月に東川町で道道が陥没し四人
が死傷、檜山地域でも二百ミリ
を超える集中豪雨があり、住宅
浸水や農地や道路の冠水など大
きな被害が発生しました。

一方、明るい話題としては、
バンクーバーオリンピックや
サッカーワールドカップ南ア
リカ大会での日本選手の活躍、
北海道大学名誉教授の鈴木章氏
がノーベル化学賞を受賞されま
した。

さて町内産業に目を転じて見
ますと、まず農業においては、
昨年は春先の多雨傾向により農
作業の遅れがありました。六月
以降は高温に恵まれたことか
ら、水稲では檜山の作況指数は
「百三二」、作柄は「やや良」とな
り、水稲以外の作物では、本町
の特産品でありますキヌサヤエ
ンドウは生産量・生産額とも減
少となりました。その他の作物
については概ね前年並み前後
で推移したところです。



町長 工藤 昇

